

令和8年7月17日

住宅局住宅生産課

設計住宅性能評価書を交付した住宅戸数は制度開始後、過去最多！ ～令和7年度の住宅性能表示制度の実施状況について～

令和7年度における設計住宅性能評価書を交付した住宅は、平成13年度の制度開始後、最多戸数となりました。

また、新設住宅着工戸数に対する設計住宅性能評価書の交付割合は、40.7%となり、10年連続で増加しました。

1. 住宅性能表示制度の概要

住宅の性能について、国が定める共通のルールに基づき、登録住宅性能評価機関が評価し、その性能を表示する制度です。

住宅性能評価書には次の3種類があります。

- ① 設計段階の図書審査による評価結果をまとめた「設計住宅性能評価書」
- ② 施工段階と完成段階の検査による評価結果をまとめた「建設住宅性能評価書（新築住宅）」
- ③ 既存住宅の現況検査による評価結果をまとめた「建設住宅性能評価書（既存住宅）」

2. 令和7年度実績

○評価書交付割合

【設計】 40.7%（新設住宅着工戸数：711,171戸）

○評価書交付実績

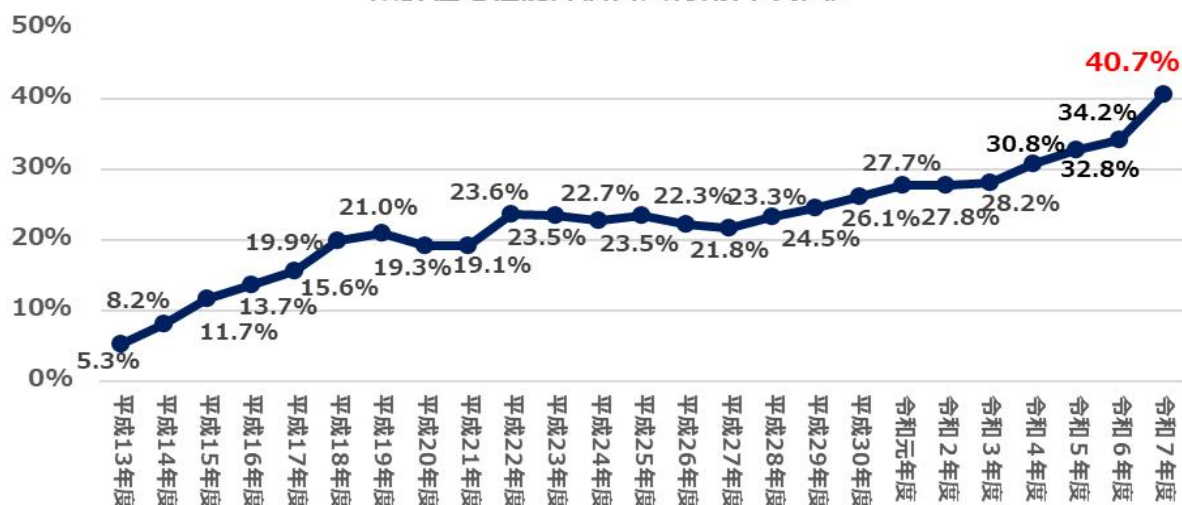
【設計】 289,267戸（対前年比：3.7%増）

【建設（新築）】 198,584戸（対前年比：3.9%増）

【建設（既存）】 139戸（対前年比：19.2%減）

（詳細は別添1～4及び参考資料をご参照ください。）

設計住宅性能評価書交付割合の推移



（参考）制度開始以降の実施状況については、以下URLよりご参照ください。

一般社団法人 住宅性能評価・表示協会ホームページ <https://www.hyoukakyukai.or.jp/>

<問い合わせ先>

住宅局住宅生産課

電話（代表）03-5253-8111

